慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	通俗和英節用集：明治期英和・和英節用集の世界（その2）
Sub Title	Concise English-Japanese and Japanese-English Dictionariesin the Early, Middle Meiji period (2)
Author	関場, 武(Sekiba, Takeshi)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2007
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. 英語英米文学 (The Hiyoshi review of English studies). No.50 (2007. 3) ,p.1- 18
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10030060-20070331-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

通俗和英節用集

――明治期英和・和英節用集の世界（その 2）――

関　場　　武

小田卓爾さんと個人的な付き合いが始まったのは，たしか三雲夏生学部長のもとで入試本部員として一緒にお手伝いをするようになってからのこと。その後大江晁学部長の時に，小生が学部長補佐で小田さんが日吉主任。爾来，公私に亙って様々な場で一方的にお世話になり続けて来た。衷心より御礼を申し上げたい。思い出は沢山ある。小田さんがニューヨーク学院長だった時に訪ねて行ってお上りさんよろしく色々と案内してもらえばよかった等々ということを含め，ああすればよかった，こうすればよかったということも数多い。それであるのに，生来のだらしなさから，お礼も碌々申し上げずに今日に至ってしまった。心広い小田さんは，きっと許してくださるだろう，紳士である小田さんは，こらえて下さるであろう。ということで，今回も甘えて，このような報告に……。

実は，これは，平成 17 年 3 月に金原君のためにこの日吉紀要第 46 号に寄せたものの続きに当たる。前号では「袖珍英和節用集」初編および 2 編，「〈通俗〉英吉利単語篇　一名英語早引」「獨學英語早引」の 4 点を紹介した。本稿では以下の 5 点をやや詳しく紹介したい。したがって文献の番号は 5 から始まる。なお，「〈大阪女子大学蔵〉日本英学資料解題」（昭和 37）には，明治 19（1886）年 12 月刊・木戸正三郎編の「開化節用無尽蔵」を英学資料の中に加えるが，同書は同年 7 月大阪・忠雅堂赤志忠七刊の「開化節用児童の智恵増（カイクワセツヨウコドモのチエマシ）」の改題・抄出本であり，英学の部分は全 80 頁のうち 17 頁にしか過ぎない

ので，除外することとした。その程度のものを英学資料とするならば，例えば明治 20 年 1 月，同じ忠雅堂刊の「〈日用百科〉國民之寶」や明治 18 年 12 月大阪・此村彦助刊「児童學藝萬物獨稽古」，同 20 年 10 月大阪・大舘利一編刊「児童必携智識の種本」等も，その中に加えなければならないからである。[1] なお，引用本文にある振り仮名は（　）に，角書きは〈　〉に入れて示したほか，字体は一部を通行のものに直した。また，原本にある差別的な用語が掲出されている場合があるが，それは本稿が資料の紹介を目的としているためであって，小生がそれを是としている訳では勿論無い。お許しを乞う。

【5】西洋画引節用集　〔初編〕

中本　左袋綴 1 冊。表紙：黄梔子色布目地紙に網目模様空押しその他。題簽：子持ち枠付短冊形桃染色紙，表紙中央上に寄せて貼付。「西洋画引節用集　全」。内題：ナシ。封面：紺色刷。飾り枠内に，上に「SEIYOWU YEBIKI ／ SETUYOWUSIWU」と 2 行横書きに出し，下方に左から「西洋画引／節用集／井上廉平輯／長谷川貞信画／大阪　大野木市兵衛發兌」と書名・編者・画工・版元名を縦書きに記す。序：漢文体，明治五申五月　荻村舍主人。題辞：袖中亦有珠，壬申夏　小林好謙題。巻頭口絵：色刷「洋婦人幼稚教育之圖」。目録題：「画引節用集目録」。刊記：末 2 丁および後見返しを使って「西洋画引節用集」「通俗英吉利會話篇」「世界風俗往来」の内容案内付広告と，紀州若山・阪本屋大二郎～同（大阪）秋田屋市兵衛までの 32 名の「諸國發行書肆」を出す。秋田屋市兵衛は，封面に言う大野木市兵衛のことである。柱刻：口絵部分を除き，上方に黒魚尾，下方に二重界線。丁付は本文部分のみ魚尾と界線の間オモテ側にあり，一～五十一。丁数：1（序）＋ 2（題辞・口絵・目録）＋ 1（アルファベット四體字体表）＋ 51 ＋ 2 丁半（広告・刊記）。匡郭：単辺。本文：毎半葉画入り有界 5 段。飾り枠付イロハ分け門標の後に，頭字イロハ順に項目を漢字表記付で出し，対応する英単語を振り仮名付き活字体・

筆記体２行に示し，さらに画図を出す。この期の英学書にしばしばある綴り字や発音表記の間違い・不正確さが，本書にも数多く見られる。

通行の再刻本によると収載語彙数は【以ノ部】イケ（池）pond（ポンド）～インゲンマメ（菜豆）Kidney－beans（キドネービインス）21 項，【呂ノ部】ロウ（樓）Loft（ロフト）～ロウモン（樓門）Loft door（ロフトドール）4 項，【波ノ部】ハ（歯）Teeth（チース）～ハツカネヅ（鼷鼠）Mouse（マオス）37 項……【毛ノ部】モン（門）Gate（ゲイト）～モノモチ（雇夫）portor（ポルトル）8 項，【世ノ部】セト（瀬戸）Strait（スツレヰト）～セツパウシヤ（説法者）preacher（プリーチヤル）10 項，【寸】酢（ス）Vinegar（ヴイニガル）～スナドリ（漁）Fishing（フヰツシング）13 項までの計 464 項目。末に「猶是に漏たるハ二篇三篇に抄譯すべし」とあり。「〈大阪女子大学蔵〉日本英学資料解題」（以下「女子大解題」と略す）に，項目・表記とも明治４年刊の【1】「袖珍英和節用集」に準拠するところ大であるとの指摘がある。なお，巻末広告には

> 西洋画引節用集　初篇出板，二篇三篇嗣出　此書ハ平常所用（つねづねいりよう）の事物を集め，洋字（よこもじ）を記し其音（おん）と義（ぎ）を附（ふ）し，児童（じどう）をして暁（さと）り易（やす）からしめんがため，一々図画（いちいちえづ）を設（まう）く，しかのみならす早見出しの為め，いろは四十七文字にて其部類（ぶるい）を區別（わかつ）なり，然らバ洋語（いぎりすことバ）を知（しる）は，此書に勝（まさ）るハなし，且手軽（かつてがろ）く美麗（きれい）に製すれハ，土産（みやげ）等の進物に至極妙なり

とある。

ところで，本書には異版がある。既に佐藤良雄氏に「異本対照　西洋画引節用集」の著（昭和 50 年５月）があり，左右対照に不鮮明かつ乱雑な書き入れの多い書影が示されているが，失礼ながら解説に不備があり初

「西洋画引節用集」
（A）初版

「西洋画引節用集」
（B）再刻本

版・再版が入れ違っている頁もある。そのため本稿では原本に就いてその概要を紹介することとする。（A）初版，（B）再刻本に書型の面での差異は無いが，見出し項目の設定，英字綴り，発音表記，画図に違いが目立つ。

〈1〉 見出し項目の違い：

前が（A）初版，後出が（B）再刻本（以下同）。イチバ（市場）－イチ（市），ハカリ（秤）－ハウシヤ（砲車），ハチザラ（鉢皿）－ハチ（鉢），ハナボタン（花椰菜）－ハナノアナ（鼻孔），ボダイジユ（菩提樹）－ホウソウ（疱瘡），ワン（碗）－ワタ（綿），カヒル（蟇）－カワズ（蛙），ソラマメ（蠶豆）－ソロバン（十露盤），ウシ（牛）－ウシメ（牛牝），クルマ（車）－クルマツクリ（車造人），コマ（駒）－コマ（獨楽），ゴケ（寡婦）－コヨミ（暦），テウバ（帳場）－デンシンキ（傳信械〈ママ〉），ミノ（簑）－ミ（箕），ジヤガタライモ（馬鈴薯）－

シンブンシ（新聞紙），モチ（餅）－モリ（森）。それに連れてもちろん英語や挿絵も異なっている。

なお，ヌノザラシは（A）が調布，（B）が調布人の漢字を宛てる。クラ（蔵）も（A）と（B）で異なる字を宛てている。また，両本とも，Custom-house は，見出し語を立てず画図中の柱にある看板「運上所」で済ませている。ヒの漢字表記は「大陽」である。[2)]

〈2〉　対応する英単語の相違：

訓みや単数・複数形の違い，また，〈1〉に挙げた日本語の見出し項目から来る違いを除くと，以下のような異なりがある。ハ（葉）Leaw － Leaves，ニグルマ（荷車）Goods train － Truck，ドテ（土手）Quag － Bank，ヌスビト（盗賊）Stealer － Thief，ワ（輪）Wheels － Circle，カ（蚊）Gnat － Mosquitoes，カマド（竈）Chimmey（ママ）－ Fire-place，ヨメ（嫁）Daughter-in-law － Bride，ダイコン（蘿蔔）Turnip-radish － Radish，レイラク（零落）Ede － Ruin，レウケン（猟犬）Lime dog － Hunting dog，ソシリ（誹謗）Gibeial － Gibe，ツカヒ（使）Consort － Messenger，ネガヒ（願）Wish － Application，ナタネ（菜種）Cole seep － Cole seeds，ムコ（壻）Son-in-law － Bride groom，ムカデ（蜈蚣）Multiped － Scolopendra，サクハン（左官）Drick layer － Mason，エンシヤウ（火薬）Trigger － Gun powder，ヒト（人）Man － Persons，モグサ（熟艾）Movn － Moxa，セキヒツ（石筆）Leadpencil － Slate pencil.

なお，メの牝鹿・盲と続く 2 項目は，（A）が対応する英単語を逆にしてしまっており，（B）で正しく Hind， Blindness と入れ直してある。因みに，英単語の綴りも，カタカナで付されている発音表記も，この期の英学書に普通のこととは言え，相当ひどい。アカゴ（赤子）Baby：（A）ベツデヰ（B）ベベ，キヌ（絹）Silk：（A）シユウグ（B）セクル，シバイ（劇場）Theatre：（A）スリツリー（B）セヤタル等多くある。

〈3〉 画図の相違：

上掲〈1〉の各項や〈2〉のエンシヤウ（火薬），それにイシヤ（醫師），バウシ（帽子），ハダギ（襯衣），バクシユ（麦酒），ニリンシヤ（二輪車），タバコ（烟草），ムシ（虫），クチギ（栓），スイフ（水夫）を除くと，（A）初版で個数や本数が複数描かれているものが，（B）再刻本で単数になっている例が多い。これは江戸時代刊行の絵入り本の初版・再刻本でもしばしば見られるところで，手間暇等の節減を図ってのことである。全 52 例のうち，5 個・5 本が 1 個・1 本となっているものがイシ（石）とクギ（釘），4 ケ→ 1 ケがクルミ（胡桃），3 → 2 がカナヅチ（鎚），3 → 1 がハタ（旗），ラウソク（蝋燭），クシ（櫛），セウガ（薑）で，他の 44 例はすべて 2 個・2 本，匹，羽，尾，枚，冊，流，客，脚，名が，それぞれ 1 になっているケースである。その全てを掲出すると，以下の通りである。イヌ（狗），ハト（鳩），ハダンキヤウ（巴旦杏），ニク（肉），ニクケイ（肉桂），ニンニク（葫），ヘイソツ（兵卒），ホン（冊），トリ（鳥），トイシ（砥石），トリデ（捕人），ヂヤウ（鎖），チヨク（盃），ヲシロヒ（鉛粉），ワ（輪），カギ（鍵），カヒコ（蠶），カラカサ（傘），カナジキ（鐵砧），カウモリ（蝙蝠），ツエ（杖），ツバクロ（燕），ナシ（沙梨），ナンキンウサギ（家兎），ムチ（鞭），ウナギ（鰻），ウサギ（兎），ノミ（鑿），ノコギリ（鋸），ヤスリ（鑢），テウ（蝶），テガミ（書翰），アミ（網），アウギ（扇），サボン（石鹸），ユビワ（指環），ミカン（柑），ミガキヤウジ（牙掃），シンキリ（剪燭），ジヤウゴ（漏斗），ゼニ（貨），スヾ（鈴），スキ（鋤），スイバ（酸模）。

【6】西洋画引節用集　二編

書型は初編とほぼ同じ。封面の意匠の異なる 2 本がある。中本　左袋綴 1 冊。表紙：黄梔子色布目地紙に網目模様空押し。題簽：子持ち枠付短冊形淡桃染色紙。表紙中央上に寄せて貼付。「〈西洋〉画引節用集　二編

「西洋画引節用集」
二編・封面

全」。封面：淡茜色紙。（A）単枠。段を刻んだ大きな台に，頂上到達を喜び万歳をしている男児・女児各 1 名と，下によじ登ろうとしている男・女児を 2 名宛左右に分けて描き，その台の内の中央に「〈西洋〉画引節用集〈貳編〉」の題名を大きく出し，それを挟んで“japa（破欠）／ Maigi loku misunoto tolidochi itigetoo Sinpan”と怪しげな綴りながら刊行年月を示し，右に「井上廉平輯」，左に「長谷川貞信画」「寶文堂梓」と記す。すなわち明治 6 年 1 月，初編と同じ大阪の寶文堂大野木秋田屋市兵衛刊，井上廉平・長谷川貞信の作・画であることが判る。また枠外左下に「彫工忠治」とある。（B）子持ち飾り枠内を縦に 3 ツ割りにし，中央に「〈西洋〉画引節用集二編」，左に「紀元二千五百三十三年」右に「寶文堂蔵梓」と記す。内題・序文：ナシ。題辞：桂林一枝崑山片玉，壬申冬日　荊邨生。巻頭口絵：色刷「洋童水遊之圖」。目録題：「画引節用集二編」，下方に「寶文堂」の陰刻朱印あり。刊記：終丁ウに界線を置いて「西洋画引節用集　初篇二篇既刻，續篇近刻」以下「世界風俗往来」「通俗英吉利會話」「解剖必携」の計 4 点の広告を出し，末に「大阪心斎橋筋書林　大野木市兵衛版」と記す。そしてさらに末 2 丁と後見返しを使って「西洋画引節用集」「通俗英吉利會話篇」「世界風俗往来」の内容案内付広告と，紀州

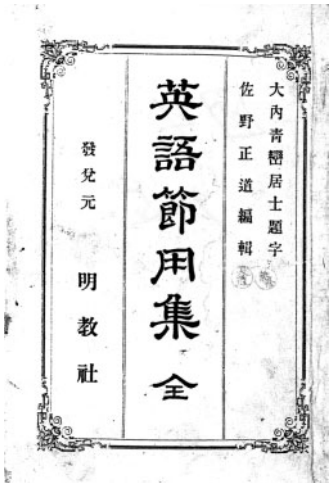
若山・阪本屋大二郎～同（大阪）秋田屋市兵衛までの 32 軒の「諸國發行書肆」を掲載しているが，この部分は【5】のものの流用である。柱刻：口絵部分を除き，上方に黒魚尾，下方に二重界線。本文部分は魚尾の上に「画引節用集」，下に「第二編」の表示。丁付：本文部分のみ魚尾と界線の間オモテ側にあり，一～四十四。丁数：2（題辞・口絵・目録）＋ 1（アルファベット四體字体表〈楳園筆〉）＋ 44 ＋ 2 丁半。本文：毎半葉有界 5 段，日本語第 1 音節イロハ順。「女子大解題」によれば，明治 4 年刊の「〈通俗〉英吉利単語篇」に準拠していると言う。【以ノ部】イクサバタ（軍旗）Colours（カラル）～イカケヤ（補鐫佐）Tinker（テンカル）19 項，【呂ノ部】ラウジン（老人）old-man（ヲールドメン），ロクシヤウ（銅緑）verdigris（ヴァルデグリス）2 項，【波ノ部】ハヤテ（颶風）Hurricane（ホリケーン）～ハナ（鼻）Nose（ノース）21 項……【毛ノ部】モリ　鯨猟ニ用ユル Harpoon（ハープーン）～モフク（喪服）Mourning（モウルニング）3 項，【世ノ部】セカイ（世界）World（ウヲールド）～セリウリ（投賣）Auction（ヲクシュン）11 項，【寸ノ部】スミツボ（墨汁壷）Inkstand（インキステンド）～スワウ（蘇木）Sapan-Wood（サパンウード）9 項までの 391 項。

掲出語は初編と同じく名詞・名詞形であるが，ヨコニナル（臥）Lying やリヤウガヘ（両替）ノサウバ（相庭）course of exchange，ヤマ（山）ノカタムキ（斜面），アブリ（焙）タルニク（肉）Roast meat，キザミ（剉）タルニク（肉）Minced meat 等といった語形や，イヌ（犬）：牝（メ）ノ Bitch，イト（絲）：琴三味ノ糸 String，イワ（礁）：海中ノ Reef，ケン（銃槍）：小銃ノ先ニ付ル Bayonet，タテバ（立場）：蒸氣車ノ Station，ヤジウ（野獣）：狐兎鹿等ノ惣名 Game，スイダウ（隧道）：蒸氣車ノ地中通路ナリ Tunnel 等のように注を付すもの，イキ（呼吸）The breath，ドウバン（銅版）ノエ（繪）An engraving，カゼ（風）The wind 等のように英語に冠詞が付いている項目があり，初編と様相が異なる。しかしこれらは，殆どすべてが梅浦元善譯「〈通俗〉英吉利単語篇　一名英語早

引」[3] から来ているものである。

【7】〈辯士必携〉英語節用集

B6 判　洋装右綴活版 1 冊。表紙：砥粉色無地紙。飾り枠で縦に三ツ割りにし，中央に「英語節用集　全」と大きく出し，右に「大内青巒居士題字／佐野正道編輯」，左に「發兌元　明教社」と記す。内題：「〈辯士必携〉英語節用集／佐野正道編纂」。奥付：本文と同じ子持ち枠内に「明治十七年十一月十二日版權免許／同十一月八日出版御届／〈編集兼出版人〉大阪府平民佐野正道〈大阪府摂津國西成郡勝間村八十六番地〉　發兌元明教社〈東京京橋區三十間堀一丁目〉」と記し，次に「賣捌所」として東京京橋區三十間堀二丁目　繪入自由出版社以下，自由堂，嚴々堂，丸善，福字堂，鴻盟社，新報社に至る 7 名の東京書肆，大坂・岡島真七，尾州名護屋・石版社，熊本・和敬支會の 3 名を挙げる。頁数：2（題辞）＋ 3（緒言）＋ 1（目録）＋ 84（本文）＋奥付。本文は部類別，縦組 12 行。はじめに漢字表記で見出しを立て，次に相当する英語を活字体で，その下にカタカナで英語の読みを出す。8 部類の内訳は，〇宗教及哲學論派名稱（佛



「〈辯士必携〉英語節用集」
表紙

教 Buddhism ブディズム～無物論 Catalepsy カタレプシー：135 項），○學術名稱（科學 Science サイアンス～史傳學 Biology バイヲロジー：61），○宗教家應用語（宗教 Religion レリジヨン～非情 Insensible インセンシブル：100），○人品及官位（佛弟 Buddhist ブデイスト～審吏 Justice of the peace ヂヤスチス，ヲフ，ゼー，ピース：64），○政治及法制（封建制 Feudal-system ヒユーダル，システム～素封政治 Timocracy チモクラシー：123），○政治家應用語（徒黨 Party パーチー～隠伏發動 Immanent-act インマネント，アクト 93），○堂屋及處名（合祭廟 Pantheon パンシーヲン～地震學會 Seismological-society セースモロジカル，ソサイチー：40），○年代及歴史（年代 Age エージ～社會 Society ソサイチー：18 項）の計 634 項目。それに各國政體及宗教が付く。英語の読みの他綴りに誤りも見られる。

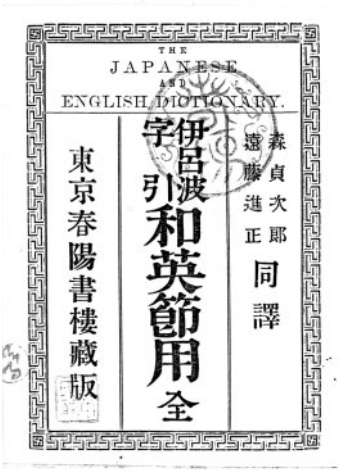
緒言に

> 余カ此編ヲ艸スル，固リ一朝ノ偶意ニ非ス，顧フニ講談演説ノ都鄙ノ間ニ行ハルヽ，未タ現時ヨリ盛ナル者アラサルナリ，而テ之レカ辯士タル者，必ス先ツ各種ノ學ニ通シ該羅餘スコトナク，其蘊籍スル所ヲ流ルヽカ如キノ雄辯ヲ以テ演出スルハ，固リ講談演説ノ最上乗ニシテ，余輩カ喙ヲ其間ニ容ルヽヲ得ヘキ所ニ非スト雖モ，彼寒村僻邑ニ在リテ書籍師友ニ乏シキ人ニ至テハ，宗教ハ佛教・耶蘇教等ノ四五種ニ止マルカ如ク，哲學ハ彌留斯邊撒ノ二三子ニ限ルカ如キノ感ナキ能ハス，况ヤ學者應用ノ術語ノ如キハ，之レヲ知ラサル人モ亦タ少ナカラサルヲ信ス，又該博萬卷ノ書ヲ讀ムノ人ト雖モ，宗教・哲學・政黨及ヒ之レニ關スル術語ノ衆多ナル，一一之レヲ暗記スルハ至難ノ事足リ，且ツ宗教・哲學ノ術語ニシテ，東西其名ヲ異ニシ其實ヲ同スルモノヽ如キ亦頗ル多シ，因テ是等ノ諸名詞ヲ纂集シ，一ハ以テ寒村僻邑ノ横文ヲ解セサル諸子ノ為メニシ，一ハ以テ已達辯士ノ備忘ニ供セント欲シ，間々之ヲ輯録ス

云々とあり，その編纂意図が知られる。「女子大解題」では知新館社友「英和字典」（明治 5 年　知新館蔵版），柴田昌吉・子安峻「〈附音挿図〉英和字彙」（同 6 年　日就社刊）との対照が一部について示されているが，当時既に「哲學字彙」や多くの和英，英和辞典が出ており，その訳語については更なる比較検討の要がある。

【8】〈以呂波字引〉和英節用

袖珍本　右綴洋装，背革・焦茶色クロス装 1 冊。背に金文字で上から「THE JAPANESE AND ENGLISH DICTIONARY. 〈伊呂波字引〉和英節用」とあり，扉飾り枠内にも同様の書名（書名の下に「全」と記す），右に「森貞次郎／遠藤進正　同譯」，左に「東京春陽書樓蔵版」と出す。内題は「〈以呂波字引〉和英節用　東京・森三樹校／東京・遠藤進正編」とあり，左上に横文字タイトル。頁数：2（扉，発行元検印〈春〉）＋ 2（序：「〈伊呂波引〉和英節用序」明治十八年春　編者識）＋ 4（凡例）＋ 2（目録）＋ 367 ＋奥付。刊記：明治十八年一月十七日版権免許　同年四月出版　編輯人　東京府士族・遠藤進正　麻布區麻布谷町六十一番地，出版人岐阜縣平民・和田篤太郎　京橋區南傳馬町


THE
JAPANESE
AND
ENGLISH DICTIONARY.
伊呂波字引
和英節用
全
森貞次郎
遠藤進正
同譯
東京春陽書樓藏版

「〈以呂波字引〉和英節用」
扉

壱丁目十四番地。「凡例」に「此ノ書，言語ヲ引クニ，伊呂波ノ部門ヲ以テ別チ，其ノ中字數ヲ以テ一二三四ト別ツ」とあるように，江戸時代宝暦 2（1752）年より明治に至るまで盛んに行われている早引節用集方式により，項目配列がなされている。すなわち【以】イ 1：イ（意）Thought（ソート），イ 2：イヘ（家）House（ハウス），イケ（池）Pond（ポンド），イタ（板）Board（ボールド）の如く，カタカナで見出しを立て，対応する漢字表記とカタカナ発音付の英語を，【須】ス 7：スイツルランド（瑞西蘭）Switzerland（スウキツルランド）まで横 2 段組で掲出する。総項目数 7680。203 頁と 204 頁が印刷間違いで逆になっている。

【9】〈明治通俗〉和英節用集

B6 判　洋装左綴，背革・薄葡萄色クロス装 1 冊。背に金文字で上から JAPANESE & ENGLISH DICTIONARY, FOR POPULAR USE と書名を 4 行に記し，その下に EAGLE, TOKIO. と発兌元を記す。平には「〈明治通俗〉和英節用集」とある。見返し：橙色無地紙。扉ウ：薄青色飾り枠内を界線で縦に 3 ツ割りにし，中央に平と同じ書名，右に高潮豊三編纂，左に東京イーグル書房蔵版と記す。次に薄様紙を 1 枚挿ん

「〈明治通俗〉和英節用集」
扉

で TOKIO,EAGLE と記されたリボンを嘴に咥え羽を広げたイーグルの銅版図を出し，その裏に This copyright belongs to K.Ishiwata. と記す。そして緒言，凡例，凡例附言，イロハ・ローマ字対照表を置いて，本文（横 2 段組）が始まる。本文冒頭に横書きで「明治通俗／和英節用集／A JAPANESE AND ENGLISH ／ DICTIONARY, ／ FOR ／ POPULAR USE.」と内題を記す。奥付：右に縦書きで「明治十九年十二月廿六日版権免許／仝二十年二月十九日版権免許／仝二十年十二月十九日合本御届／仝二十年十二月出版」と刊行年月を出し，次に東京神田佐久間町の住所付で「編者・神奈川縣平民　高潮豊三／出版人・東京府平民　石渡賢八郎／發兌元イーグル書房」と編者名等を列記した後，「神田區花田町壱番地耕文社印行」と印刷社名を掲げる。頁数は 2（扉）＋ 2（口絵）＋ 2（緒言）＋ 13（凡例等）＋ 1 ＋ 617（本文，英文典略解）（594 頁まで本文）＋奥付。

「緒言」（左縦書，明治十九年十二月編者誌）に

> 今や我邦，外交の關係日に頻繁を来すの折柄，吾人英語を知るの必要なる論を俟たず，然れども所謂最多人民にありては，師に就て之を學ぶの餘暇なきもの頗る多しとす，イーグル書房の主人茲に見るあり，彼の最多人民をして，常に事に觸れ物に接する毎に，其入用の文字を捜索し得ると同時に英語を知らしめんが為め，従来世間に慣用せし節用集なるものを取捨し，既に陳腐に属せる語は之を省き，専ら今日實地に使用せる言語を加へ，對記するに英語を以てし，且つ之れに發音を附し，世の最多人民をして知らず識らざるの間に於て英語を知り得ること，猶ほ今日の Lamp（ラムプ）、Pump（ポンプ）, Match（マッチ）等の如く普及ならしめんと，予に之が編纂の註文を為せり

云々とあり，また「凡例」に，たとえば

〔乾坤〕：此門には日月。星辰。風雨。霜雪。山海。川澤。池沼。國土。

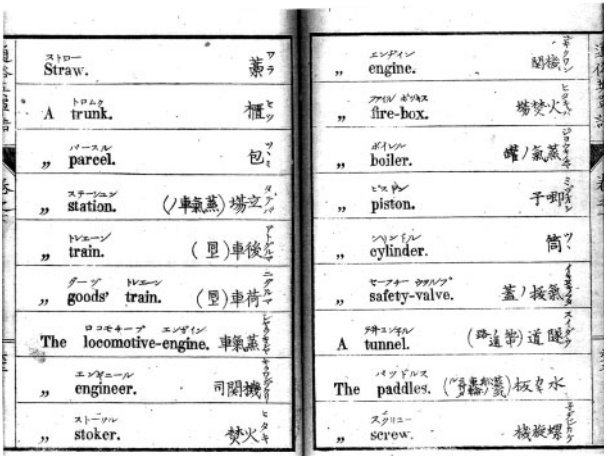
田圃。園庭。道路。牆垣。城郭。宮殿。院省府縣廳。其他諸官衙。諸會社。堂塔。都鄙民屋鐵道。電線。燈臺等を記載（しる）す
〔植物〕：此門には身體。五官。筋骨。毛髮。疾病等に關るものを記載す
〔言語〕：此門には日用談話。公私文通等の言語より政治。法律。理學。經濟。宗教。道德。自由。権利。義務。祭葬。慶吊等に至り，専ら今日使用せる萬般の言語を蒐集して，之れを記載す

とあるように，本書はイロハ分けと部門分けを併用する節用集方式を採っているが，部門内の項目配列順は，漢字表記の数の多少によっている。通常の早引節用集やその改良版である部門分け併用の早引節用，例えば文化13〈1816〉年序刊「〈十三門部分音訓正誤〉いろは節用集大成」（改題本天保13〈1842〉年刊「〈十三門部分音訓正誤〉大全早字引・一名以呂波節用集」）や、明治4〈1871〉年刊「〈布令日誌必用・掌中〉早字引集・一名御一新字引」等は皆、仮名数によって引く方式になっており、本書は珍しい例である。部門数は乾坤，時令，人物，身體，動物，植物，器材，衣食，數量，言語，姓氏の11。項目はイロハ分けの仮名表記で立て，対応する漢字表記，振りかな付き英語の順で横2段組に掲出されている。項目数は【い】〔乾坤〕いは（岩）。いは（磐）A rock（ロック）～ゐけいざいさいばんしよ（違警罪裁判所） Police court（ポリス　コールト）57項，〔時令〕いにしへ（古）Anceient〈まま〉time（エンシェント　タイム），old time（オールド　タイム）～いっせいき（一世紀）One century（ワン　センチュリー）（一年より百年までを云ふ）22項以下，〔言語〕至（いたる）。到（同）。臻（同）To arrive（ツー　アライヴ），to attain（ツー　アッテーン）～いたりあご（伊太利語）Italian language（イタリアン　ラングウェッヂ）416項，〔姓氏〕いとう（伊藤）Ito（イトー）～いないしろ（猪苗代）Inaisiro（イナイシロ）95項まで，【い】は総数748項。【す】……〔言語〕（門標欠）すべ（術）。同（法）Way（ウェー），mannner（マンナー），mode（モード）～すゑたのもしき（末頼母敷）Most hopeful in

the future（モスト　ホープフル　インヂヰ　フヒューチュア）101 項，〔姓氏〕すへ（陶）Suye（スエ）～すながは（砂川）Sunagawa（すながは）29 項まで，【す】の総数は 231 項。全項目数は 16436。なお，本書については豊田實「日本英学史の研究」（昭和 38．11　千城書房）追補に言及がある。

【10】英和通辨増補挿畫活用無盡蔵　第七版

本書は題名に「節用」「節用集」を謳っていないが，「英和辭書」（目録題）（ママ，実際は和英辞書）の部が【8】と同じく早引方式になっているので，簡単に紹介をする。A6 判左綴洋装 1 冊。白表紙背に「英和通辨活用無盡蔵　全」，平に飾り枠を設け，上方に左横書きで「英和通辨／増補挿畫／活用無盡蔵」と出し，下方に THE TREASURY OF LEARNING READ, WRITE, AND SPEAK THE ENGLISH LANGUAGE BY H.YAMAZAWA. ／ ENLARGED EDITION と英文タイトルを記す。また，上欄外に「第七版」とあるほか，後表紙に水辺の鷺の図と「辻本尚古堂蔵版」の版元名あり。扉：桃色地に書名等表紙平に同じ。奥付：匡郭内左方に「明治十八年十二月十八日版権免許／明治十九年九月二十八日増補再版



「〈通俗〉英吉利単語篇」明治 4 年初版本

御届」以下「明治三十年十月二十五日七版發行」に至る改版記録を出し，界線を置いて右に「版権所有」として，編輯者・山澤平太郎，發行者・辻本九兵衛，印刷者・佐野代三郎，發行所・尚古堂，印刷所・共遊舎の名を列記する。住所は，いずれも東京市のものである。口絵は色刷りで地球両極之圖，各國旗章を 4 頁に亙って出すが，全 322 頁のうち 65 頁以下が 167 頁に亙る「英和辭書」（A JAPANESE AND ENGLISH LEXICON）となっている。実際は前述の如く英和ではなく和英辞典であり，【伊】い一：意（イ）The will.（ゼ　ウィル），位（イ）Rank.（ランク）以下【寸】す四……活計（スギワイ）Living（リヴィング），水瓜（スイクワ）A water-melon（エー　ウヲーター　メロン）に至る 3946 の項目を，間々挿絵入りで載せる。無盡蔵を書名に謳う節用集類は，江戸時代に「廣大節用大全無盡蔵」（正徳 2〈1712〉年刊），「〈大廣益新改正〉永代節用無盡蔵〈真草両點〉」（天保 2〈1831〉年刊）等があり，明治期のそれにも若干あるが，本書も，巻末に CONVERSATION（會話），月名，大日本國盡，ローマ字読み付の商賣往来・千字文等が収載されており，それらと同様小百科的なものとなっている。

なお，イロハ分けの英単語集は，例えば明治 7 年 1 月刊「〈學校入門〉諳誦心乃種」（半紙本 1 冊）の上段にある「英和通辨」の 957 項目や，明治 20 年 1 月刊「獨學英語早引」（銅版・袖珍本 1 冊）に収録されている 1 時 one oelock（ママ）～済 Fin に至る 1438 項，いなひかり（電）ライトニング～すもうとる（角觝）ツウ．レスシルと英字表記無しで単語や語句を集めている明治 13 年 1 月刊の「英和伊呂波通辨」（中本，横本 1 冊）等，この他にも色々あるが，このようなものを書き連ねて行くと，紙幅の無駄遣いと流石の小田さんも立腹なさるであろうから，これにて筆を置くことにする。

注

1　「開化節用児童の智恵増」については，拙著「近世辭書論攷－早引・往来・

會玉篇」（平成 6 初，同 11 改訂　慶應義塾大学言語文化研究所）所載「明治少年節用・少女節用」を参照されたい。

2　ウンジヤウシヨ（運上所）Custom-house.（カストム　ハウス）（袖珍英和節用集・ウ七）　ヒ（大陽）Sun.（サン）（同・ヒ一）

3　前稿【3】では明治 6 年の再刻本（B）を紹介したが，その後初刻本（A）を実見できたので簡単に報告する。書型等は（B）と同じで同一版木を使用していると思われるが，一部の丁に覆刻が認められる。大きく異なる個所は封面，奥付の部分である。すなわち（A）の封面は，様式が（B）と同じながら「〈通俗〉英吉利単語篇」の書名を挟んで左に「明治四季秋上許　　擇善居蔵板」，右に「梅浦元善譯　一名英語早引」とある。また，奥付は巻上終丁ウ匡郭内に（B）と同形式で上部に「擇善居蔵板／明治四辛未季秋上梓」，下部子持ち枠内に「蔵印之記」の大型朱印。後表紙見返し匡郭内に，左から「横濱弁天通リ　師岡屋伊兵衛／〈通俗〉英吉利單語編　二篇三篇近刻／當時流布の書なれバ，便利のため又發行のすみやかならんことをはかり，小冊にして編を次ぐ，　備せしむる時ハ，諸言記せざるハなく，萬物のせざるハなし，実に洋學専要の奇巻なり／宦許　明治四辛未九月／江戸橋廣小路・丸屋半三郎／日本橋釘店・和泉屋壮蔵／西洋書屋　日本橋四日市・和泉屋半兵衛」と記す。巻下は，終丁の後 2 丁に亙って日本橋通一丁目・須原屋茂兵衛～尾張名古屋本町三丁目・菱屋藤兵衛までの 52 軒の書肆を列記する。後表紙見返しは（B）と同様にあり，和泉屋半兵衛の下に「西洋書屋／日本橋四日市和泉屋半兵衛」の朱印を捺す。なお，【6】が本書に基づくことは「女子大解題」にも指摘がある。